

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	日本国憲法						授業形態	講義	
科目コード	120330	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	中島 多津雄								
授業概要	<p>国の基本法である日本国憲法の重要性の認識を基礎にして、憲法の基礎知識と基本的考え方の修得を目標とする。その際、日常生活や政治の中で、憲法が具体的にどのように解釈、適用されているのかを、判例の検討を通して学んでいく。</p>								
関連する科目	法学								
授業の進め方 と方法	<p>① 受講者は、授業計画をもとに、各回の対象範囲について、教科書を一読したうえで、授業に参加してもらい、教員が、対象範囲について重要事項を講義する。</p> <p>② ポイントを絞りやすいように、予め（講義の1週間程度前に）、簡単な例題を示すので、受講者は、教科書を見たうえで、自分なりに考えて、回答したうえで、授業に参加し、教員が、その質問の回答を示す。</p> <p>③ 第6回以降は、授業の一部の時間を、重要判例の学習にあてる。</p> <p>重要判例（5個程度の予定）について、受講者全員が5つのグループに分かれてグループで1個の判例を担当し、各グループ内で、その判例について、以下の内容について報告者を決めて、授業の場で報告してもらい、他の学生にも考えてもらい、教員が適宜コメントを加える。</p> <p>ア 事件の概要（1名）  イ 憲法のどの部分（何条）が問題になっているか（1名）  ウ 結論と見解（説）の対立の内容（1名）  エ ウについての自分の考え（複数名）</p>								
授業計画【第1回】	授業の進め方、憲法とは何か、法律の基礎								
授業計画【第2回】	憲法とは何か、立憲主義、象徴天皇制								
授業計画【第3回】	平和主義								
授業計画【第4回】	人権総論、人権の適用範囲と限界								
授業計画【第5回】	包括的人権と法の下での自由								
授業計画【第6回】	精神活動の自由（1） 思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由								
授業計画【第7回】	精神活動の自由（2） 表現の自由、集会結社の自由、通信の秘密								
授業計画【第8回】	経済活動の自由								
授業計画【第9回】	人身の自由と刑事手続き上の諸権利								
授業計画【第10回】	参政権と国務請求権								

授業計画【第11回】	社会権
授業計画【第12回】	国政のメカニズム
授業計画【第13回】	国会と内閣の組織・権限・活動
授業計画【第14回】	地方自治、法の支配と裁判所
授業計画【第15回】	憲法の保障と違憲審査制
授業の到達目標	憲法の全体像、基礎知識、基本的な考え方、具体的事件（判例）との結びつき等が理解できること。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修【予習】	毎回の授業の前に、60分前後時間をとり、対象範囲のテキストを一読し、予め示す例題に自分なりに回答してみる（ノートに書いてみる）。
授業時間外の学修【復習】	割り当てられた重要判例について、ネットで調べて、自説を考えてみる。
課題に対するフィードバック	予め示した例題について、授業の際、適宜指名して回答してもらい、理解内容や学習方法を指導していく。
評価方法・基準	定期試験による
テキスト	高橋和之著作「立憲主義と日本国憲法（第5版）」（株）有斐閣 2020年4月15日発行 定価 3200円＋税
参考書	秋山宏次郎監修「「こどもSDGs」なぜSDGsが必要なかわかる本」（株）カンゼン 定価 1300円＋税
備考	